

筑紫野市庁舎建設工事に着工しました

● 問い合わせ先 戦略企画課庁舎建設検討担当

筑紫野市庁舎建設事業については、これまで建設に関する基本方針（案）や基本計画、基本設計の策定に取り組んできました。

このたび、庁舎の詳細な設計を取りまとめた実施設計が完了しました。また、5月中旬から実施していた地盤改良工事が完了し、7月から建築工事に着手しました。今後は平成30年11月の竣工を目指し、工事を進めていきます。



地盤改良工事の様子



庁舎棟外観イメージ

建築概要

- 所在地 筑紫野市石崎1丁目209番1外
- 敷地面積 14,613.74㎡ ■ 建築面積 3,065.49㎡
- 延床面積 13,828.46㎡ ■ 構造 S造(基礎免震構造)
- 階数 地上6階 ■ 最高高さ 30.1m
- 駐車場 立体駐車場356台、平面駐車場 約50台

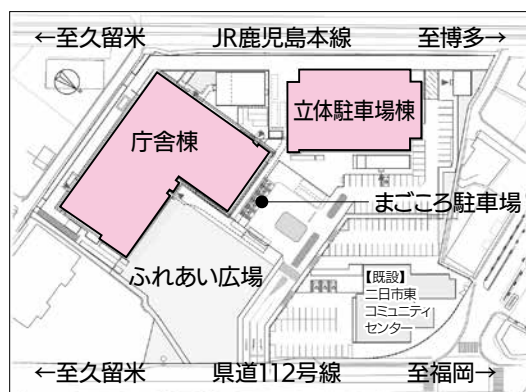
1 配置・外構計画

基本設計における配置計画をもとに、多目的に活用できるふれあい広場を取り囲むように庁舎棟と立体駐車場棟を配置します。

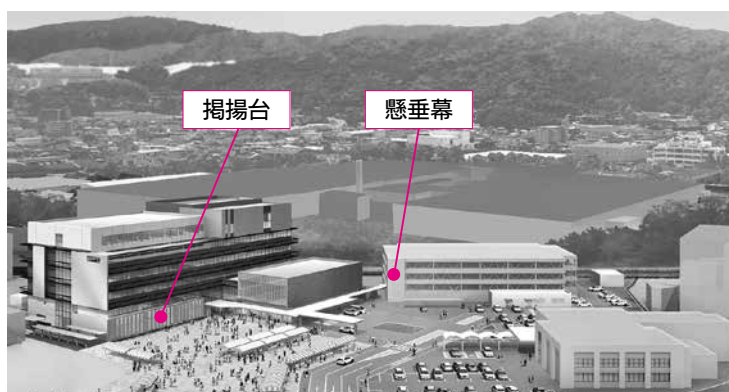
庁舎は東西を軸とし、南北面からの採光と西日を遮断することで、日射による熱負荷を抑え、JR線からの

騒音の低減も可能な計画としています。

立体駐車場は4層5段とし、来庁者・公用車などの合計356台の駐車台数を確保します。さらに平面駐車場は約50台確保し、庁舎棟正面にまごころ駐車場を配置します。

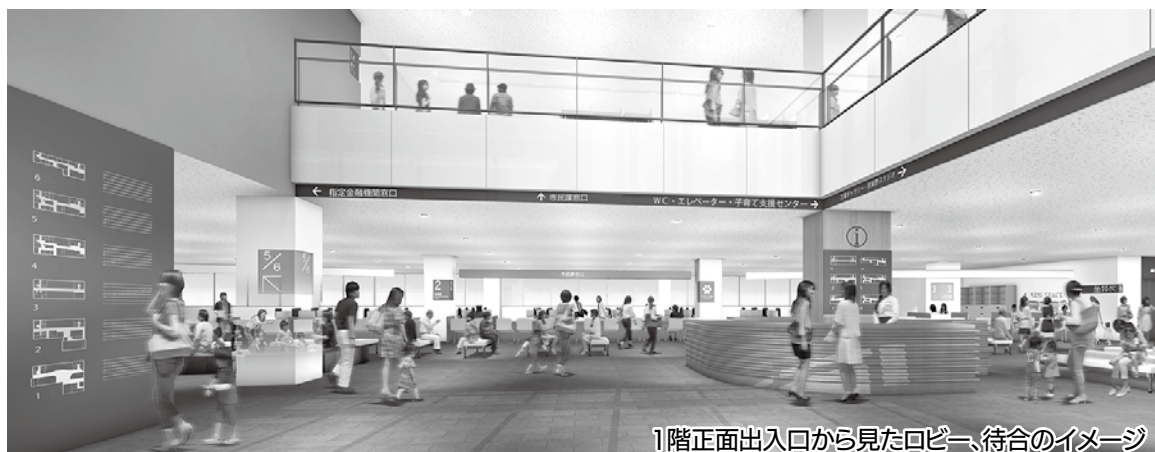


配置計画平面図



配置計画鳥瞰イメージ

2 窓口・サイン計画



1階正面出入口から見たロビー、待合のイメージ

待合スペースを1階の中央に配置したわかりやすい窓口レイアウトと、吊り下げ式案内板やローカウンターを採用することで、見通しが良く開放的な空間としています。窓口ごとに案内板などの色彩を変えることで、遠く

からでも行きたい場所がすぐに見つかるような窓口空間とし、わかりやすい案内表示やプライバシーに配慮したカウンターとあわせて、だれもが利用しやすい計画としています。

3 防災計画

庁舎棟の地下に免震装置を48カ所設置します。免震装置は4種類の装置を組み合わせ、大地震に対しても被害を最小限に抑え、災害対応拠点としての機能を維持することができます。

また、災害復興拠点の機能として、電力・給水は3日間、排水は4日間のバックアップを計画します。ふれあい広場は災害時に防災広場として、一時避難場所や支援物資の受入場所へと機能転換する計画とします。屋外駐輪場には一時避難者が利用できるマンホールトイレを設置します。

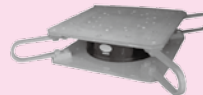
4種の免震装置



積層ゴム支承 ししょう



弾性すべり支承 ししょう



鋼製ダンパー



オイルダンパー

4 今後の工程(予定)

	平成29年度			平成30年度				
	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1月	
基礎工事	[Progress bar]							
躯体工事			[Progress bar]					
外装工事	着 工			[Progress bar]			竣	
内装工事				[Progress bar]				
設備工事			[Progress bar]				工	
附属棟工事				[Progress bar]				
外構工事						[Progress bar]		

当事業の施工者である、前田建設・九州建設・久米設計・匠建築特定建設工事共同企業体により、現場の状況や事業に関するお知らせなどの情報を提供する「筑紫野市庁舎建設事業特設ホームページ」が開設されました。当ホームページには市公式ホームページからもアクセスできます。

特設ホームページ アドレス

<http://chikushino-jv.bizside.biz/>